



クレマチス

第10号

令和8年1月23日
北海道常呂高等学校
学校・PTAにより

地域とともに歩む**常呂高校のいま**をお伝えします。

体育大会 バレーボール

12月18日（木）に体育大会（バレーボール）を実施しました。当日まで生徒は体育の時間や昼休み、放課後などを利用し、熱心に練習に取り組んできました。大会当日はその成果が随所にあらわれ、白熱した試合が繰り広げられました。

自身が所属するチームでなくとも惜しめない声援を送るなど、全校一丸となって大会を盛り上げる姿が見られました。

また、昼食には保護者の皆様が調理した豚汁がふるまわれ、楽しくおいしい充実した大会となりました。



生徒会交流会

～北見北斗高校とのカーリング交流～

1月8日（木）に、地域連携協力校である北見北斗高校の生徒会の皆さんと生徒会交流会を実施しました。

午前はアドヴィックス常呂カーリングホールで常呂高校生と一緒にカーリングの練習や試合を和気あいあいと楽しみました。午後は、常呂高校視聴覚教室で昼食を取り、くじ引き形式でトークテーマを設定する交流会を行いました。

両校の生徒会活動や運営等について積極的に活発な意見交換がみられ、今後につながるとても有意義な時間となりました。



地域への提言

地域への提言

～常呂をもっと元気に～

12月12日（金）

総合的な探究の時間「Tokoro Project」という授業の集大成として『地域への提言』発表会を実施しました。商品開発班は「A」ところの「ピンクニンニクましまし万能ばかタレ」で味付けしたカボチャせんべいの開発、観光PR班はドローンや生成AIなど最先端の技術を駆使しての動画作成など、高校生ならではの着眼点で探究してきた成果をもとに提言を行い、来賓の工藤総務課長に提言書を手渡しました。



観光PR動画
はこちら



常呂高校の授業 カーリングのまち

本校が実施する「カーリングのまち」という授業は、「主体的・対話的で深い学び」を、地域資源であるカーリングを通じて実践する取り組みです。2、3年生の必修科目として、生涯を通じたカーリングライフの実現と地域のスポーツ振興に寄与する資質・能力を育むことを目標としています。

授業では、常呂地域の小学生のカーリング授業における指導補助、指導に繋がるオリジナル教科書の作成等をしております。今後は生徒主体で運営するカーリング大会なども実現したいと考えております。



英会話教室

常呂自治区で勤務するALTデヴィナ先生の指導のもと、英会話教室が行われています。参加者はこの3月にカナダバーヘッドでの姉妹都市交流に参加する2年生3名です。

買い物や体調、空港でのやりとり、そして常呂を紹介するプレゼンテーションの練習にも励んでいます。

【2月 学校行事予定】

- 2/1（日）～2/26（木）
3年家庭学習期間
- 2（月）教育相談週間（～10（火））
3時間授業
- 7（土）～8（日）共通テスト模試
- 12（木）スクールカウンセラー来校
- 17（火）～19（木）後期実力考査
- 25（水）校内カーリング大会
- 26（木）自治区ALT来校
- 27（金）卒業証書授与式予行 同窓会入会式
（ 3月1日（日）卒業証書授与式 ）

校長より

1月26日（月）に令和8年度高校入試の出願者数が公表されています。（この原稿は1月13日に書いています）

事前の情報ではなんとか10名以上の出願があるのではないかと期待しています。

令和9年度は地元常呂中学校の3年生の数がかなり少ないので、より苦戦することが予想されます。

なんとか令和8年度は10名以上の入学生を迎え入れ、将来につなげていきたいと願っています。

常呂高校は「まちと常呂高校未来プロジェクト」「常呂高校振興会」や「北見市」の協力を得ながら、様々な取り組みをしています。

令和7年12月に参加した「移動市長室」では、辻市長から常呂高校を残すために様々な面から支援を検討していただいていることをお伺いしました。

北海道教育委員会からは生徒から選んでもらえる学校となるために、さらなる魅力化を目指すよう指導を受けています。

常呂高校は地元の教育資源を活かしながら、ボランティア活動を中心とした地域実習を展開し、行事にも参加し、地元に着目した教育に取り組んでいます。また、生徒の数が少ないことを逆手に取り、「少人数」の学級による親身な指導を実施しています。常呂高校で社会に出るためのコミュニケーション能力やマナー、基礎知識を身につけてもらいたいと考えています。

今後、教育課程をさらに魅力的なものとなるよう検討を深めていきます。

魅力的な学校へ



ホームページ



X



Instagram



YouTube

